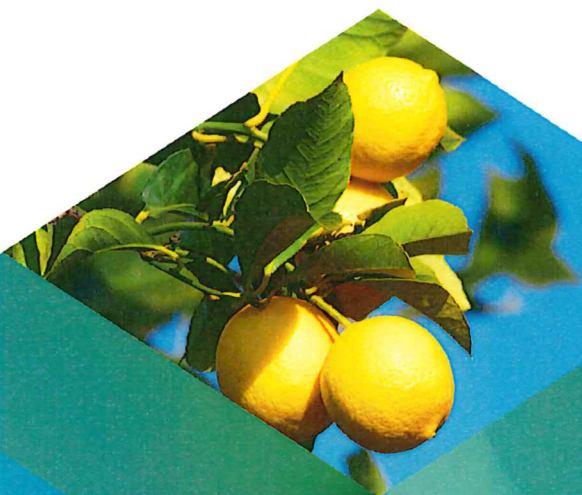


50年後も輝き続ける「まち」であるために
～平和の地から未来を見据えて～

第37回 全国経済同友会セミナー

広島大会



ごあいさつ

戦後80年となる節目の年に、広島経済同友会が創立70周年を迎える中、第37回全国経済同友会セミナーを広島で開催する運びとなりました。

近年、全国経済同友会セミナーでは、ウクライナ危機や安全保障をテーマに、平和についての議論を深めてまいりましたが、2023年のG7広島サミット後も国際情勢は刻々と変化しています。戦後、平和を礎とした「まち」づくりで社会・経済の発展を遂げてきたわが国にとって、平和の地ここ「広島」で開催する全国セミナーには特別な意義があります。全国から経営者が集い、未来を見据えて、各地域が輝き続ける「まち」であるために、自分事として考え、活発に議論を行い、広く発信していくことで、実行・実現の第一歩になることを期待しています。

わが国の人口減少が一層加速している中、各企業は人材不足を補い付加価値を高めるビジネスモデルを構築する必要があります。そのためには、生産性の向上や人材育成（「人」づくり）が課題となります。加えて、人材の定着には、安心・安全で快適な職場や生活環境、活気あるまちづくりが大前提となります。

こうした背景を踏まえて、事業規模や業種、事業エリアの枠組みを超えて、多くの経営者へ学びを提供できるように、総合テーマを「50年後も輝き続ける『まち』であるために」としました。ここでいう『まち』とは、人々が集う場所のことだけでなく、その地域の経済、文化、環境、教育、居住性、コミュニティなども含めた言葉として用い、「輝き続ける」とは、その地域の価値が向上して魅力を維持し続けるということを表現しています。50年後も輝き続ける『まち』を実現するために必要と考えられる施策の中から、4つの項目（サブテーマ）に着目して分科会を立ち上げ、新たな気づきや課題解決の糸口を探りたいと思います。

また、この機会に、新しいサッカースタジアムやにぎわい施設の整備、都市部の再開発など、いよいよ本格的に動き始めた、広島の都市再生のダイナミズムにも是非触れていただきたいと思います。

第37回全国経済同友会セミナー企画委員会

大会総合テーマ

50年後も輝き続ける「まち」であるために
～平和の地から未来を見据えて～

プログラム

4/17(木)

12:00～

13:00～13:30

13:40～14:40

14:40～15:10

15:10～17:30

17:30～18:00

18:00～19:30

4/18(金)

9:00～10:00

10:00～10:15

10:15～10:30

10:30～11:30

11:30～12:00

12:00頃～

13:00頃～

開場・受付

オープニング・挨拶

- ・開会挨拶／**山下 良則** 全国経済同友会セミナー企画委員会 委員長
(公社)経済同友会 副代表幹事
(株)リコー 代表取締役会長
- ・歓迎挨拶／**武田 龍雄** 広島経済同友会 代表幹事
広島信用金庫 会長
- ・来賓祝辞／**湯崎 英彦** 広島県知事

基調講演

- 講師／**伊藤 聡子** フリーキャスター
事業創造大学院大学客員教授

休憩・分科会会場へ移動

分科会(第1分科会～第3分科会、特別分科会)

休憩・懇親パーティー会場へ移動

懇親パーティー

- ・開会挨拶／**新浪 剛史** (公社)経済同友会 代表幹事
サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長
- ・来賓祝辞／**松井 一實** 広島市長
- ・乾杯発声／**池田 晃治** 広島商工会議所 会頭
広島経済同友会 特別幹事
(株)ひろぎんホールディングス 代表取締役会長
- ・中締め／**小田 宏史** 広島経済同友会 代表幹事
(株)もみじ銀行 取締役会長

分科会報告

- ・第1分科会座長／**小林 英文** (一社)仙台経済同友会 代表幹事
(株)七十七銀行 取締役頭取
- ・第2分科会座長／**武田 龍雄** 広島経済同友会 代表幹事
広島信用金庫 会長
- ・第3分科会座長／**永井 淳** 中部経済同友会 代表幹事
新東工業(株) 代表取締役 社長執行役員

- 総括挨拶**／**新浪 剛史** (公社)経済同友会 代表幹事
サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長

休憩

特別講演

- 講師／**大島 衣恵** 能楽師 シテ方喜多流

エンディング

- ・次期開催地代表挨拶／**横山 敬** 土佐経済同友会 代表幹事
(株)司不動産商事 代表取締役社長
- ・閉会挨拶／**武田 龍雄** 広島経済同友会 代表幹事
広島信用金庫 会長

昼食

エクスカージョン

基調講演：4/17(木) 13:40～14:40

サステナビリティと地域の可能性

伊藤 聡子 氏

フリーキャスター・事業創造大学院大学客員教授

1967年新潟県糸魚川市生まれ。東京女子大学卒業、事業創造大学院大学修了。大学在学中よりキャスターとして活動を開始し、多くの情報・報道番組に出演。2002年にニューヨークのフォーダム大学留学。帰国後は、JICAを通じて国際貢献の現場を視察し、バングラデシュ、インド、インドネシア、ベトナムなどにおいて、ビジネスによる社会課題解決のアプローチを取材。日本の地域においても、東京との格差や地域課題の解決にはビジネスの視点が不可欠と捉え、事業創造大学院大学にて経営管理修士(MBA)を取得。2010年、同大学の客員教授に就任。数多くの企業や経営者を取材し続けており、地方創生や企業経営などをテーマに幅広く活動している。地方創生、エネルギー、地球温暖化対策などについて、国の委員会の議論にも参加。企業の社外役員も務める。



第1分科会：4/17(木) 15:10～17:30

「人」づくり ～多様・公平・包摂、AI・DXが加速する社会への対応～

VUCA^{※1}と称される不確実、不透明な時代環境、それに加えて日本は人口減少(=生産年齢人口の減少と(後期)高齢者の増加)が他の先進国に先んじて進む非常に困難な状況にあります。そうした中で、企業や行政、NPOなど日本社会を構成する様々な組織において、人材の育成、活用、維持は大きな課題になっています。かつてダイバーシティと呼ばれた言葉は多様性に公平性、包摂性という概念を加えDE&I^{※2}(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)となり、多様な人材が相互の違いとそれに基づく価値を認め合いながら、公平な処遇のもとに活躍できる社会を実現するための重要な社会インフラになっていると言えるでしょう。

さらに、AIの進化をはじめとした近年のICTの幾何級数的な進展により、組織内プロセスの変革を行い、組織活動の効率性、競争性を高めるDXは持続可能な組織の構築にとって必要不可欠となっています。こうしたデジタル技術とそのポテンシャルを組織の運営責任者が身をもって理解し、活用しながら、DE&Iのインフラをさらに深化させていくことが、ますます重要になります。

そこで、この分科会では、ダイバーシティからDE&Iへの変遷を辿りつつ、女性や障害者という異なる人材の目から見た現在の日本のDE&Iという社会インフラの現状や達成度、今後の課題などを議論しながら、そのインフラを土台にしつつ、データやAIを中心としたデジタル技術を活用していかに競争上の優位性を確立するか、いわばDE&IとDXの相乗効果について、議論し、提示する機会としたいと考えています。

※1 Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取った造語。

※2 Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(包摂性)の頭文字を取った造語。

- 座長／**小林 英文** (一社)仙台経済同友会 代表幹事
 (株)七十七銀行 取締役頭取
- パネリスト／**竹川 隆司** (一社)仙台経済同友会 幹事
 (株)zero to one 代表取締役CEO
- 田村 太郎** (一社)関西経済同友会 幹事
 (一財)ダイバーシティ研究所 代表理事
- 垣内 俊哉** (一社)関西経済同友会 幹事
 (株)ミライロ 代表取締役社長
- 井上ゆかり** (公社)経済同友会 副代表幹事
 日本ケロログ(同) 代表職務執行者社長

第2分科会：4/17(木) 15:10～17:30

「街」づくり ～官民協業による過去・現在・未来～

より安心・安全で暮らしやすく、活気のある「街づくり」は、全ての社会経済の基盤となります。そのような街を実現させるためには、行政やまちづくり団体、民間がベクトルを合わせ、パワーを集中して協業することが重要です。しかしながら現実的には、総論賛成・各論反対となり、なかなか一枚岩になれず、事業が前に進まないケースも散見されます。一方で、各地の経済同友会が行った「街づくり」に関する提言や要望は、住民や行政の理解を得て実現に至るなどの実績を挙げています。

本分科会では、広島経済同友会が2016年にまとめた「まちづくりに関する提言」を端緒に、行政と地元組織・企業群（まちづくり団体・経済団体等）が協働で進める広島の都市再生と併せて、同様な取り組みをしている北海道、関西、鹿児島各同友会や各地域における「街づくり」に関する活動等を紹介する中で、官民協業のあり方や輝き続ける「まち」であるために必要な街づくりの方策等について議論します。

座長／武田 龍雄	広島経済同友会 代表幹事 広島信用金庫 会長		
モデレーター／北野 尚人	広島経済大学 メディアビジネス学部長		
パネリスト／安田 光春	北海道経済同友会 代表幹事 (株)北洋銀行 取締役会長	田村 興造	広島経済同友会 特別幹事 広島ガス(株) 相談役
永井 靖二	(一社)関西経済同友会 代表幹事 (株)大林組 副社長執行役員	椋田 昌夫	広島経済同友会 常任幹事 広島電鉄(株) 代表取締役会長
島津 忠裕	鹿児島経済同友会 副代表幹事 (株)島津興業 代表取締役社長		

第3分科会：4/17(木) 15:10～17:30

「地域」づくり ～スポーツが生む地域活性化のチカラ～

人口減少は多くの地域で経済・社会に深刻な影響を与えている。東京への一極集中が進む一方で、地方では若年層を中心に流出が止まらず、地域コミュニティや経済活動の維持がますます困難になっている。この流れが続けば、地元企業の労働力不足や公共サービスの縮小、さらには学校や病院の閉鎖といった問題がより深刻化し、生活環境の質が低下することで、地域がさらに衰退していく悪循環に陥りかねない。

さらに、情報化社会の進展により地域コミュニティが空洞化し、かつて地域で培われた人々のつながりが弱まっている。これにより、人間関係が希薄化し、地域の活力が失われ、共助の精神や社会的な絆が崩れていく懸念が高まっている。

地域の持続的な発展と活性化を実現するには、「働く場所」の確保と「人が集まる」環境づくりが不可欠である。若者が「住みたい」「戻ってきたい」と感じられる地域づくりが、今後の課題である。

こうした問題を一気に解決する方法は簡単には見つからないが、「スポーツ」には大きな可能性があると考えられる。スポーツには「する」「みる」「ささえる」といった多様な関わり方ができ、共通の感動や達成感、一体感を通して、地域コミュニティの再生や地域活性化のチカラになると考える。

教育や芸術文化など、地方活性化に繋がるコンテンツは他にもあるが、本分科会では、誰でも多様な関わり方ができる「スポーツ」に焦点を当て、企業が地域づくりに果たす役割を事例を交えながら議論したい。

座長／永井 淳	中部経済同友会 代表幹事 新東工業(株) 代表取締役 社長執行役員
座長 随行／安江 貴哉	新東工業(株) 人事部付(アスリート社員)
問題提起者 兼パネリスト／原田 宗彦	(学)浪商学園 大阪体育大学 学長
パネリスト／池田 弘	新潟経済同友会 特別幹事 (学)新潟総合学園 総長
小泉 啓典	愛媛経済同友会 副代表幹事 東昇技建(株) 代表取締役

特別分科会：4/17(木) 14:40～17:30

14:40～15:00	バスに移動、会場出発
15:00～15:30	バスでマツダミュージアム※へ移動
15:30～17:00	マツダミュージアム視察
17:00～17:30	バスで会場へ移動

※マツダ(株) 広島本社の敷地内にある見学施設。

自動車産業の視察について ～「ものづくり」の原点はひとにあり～

人々が集まり共存していくためには、核となる産業の存在も大きな要素となります。広島を含む中国地方では、たたら製鉄が栄えた背景から、これをDNAとした重厚長大型の産業が次第に集積し、「まち」の発展を支えてきました。

本分科会では、広島の代表的な産業で、裾野の広い自動車産業にスポットを当て、マツダ(株)のマツダミュージアムを視察いただきます。100年以上にわたって世に送り出してきたクルマに込めた想いと、次の100年に向けたビジョンを、ストーリー性を持って体感いただく中で、「ものづくり」に込めた情熱など、技術が如何に進化しようとも、「ものづくり」の原点は「ひと」にあることを再認識していただきます。

主 催／広島経済同友会

特別講演：4/18(金) 10:30～11:30

能への道しるべ ～広島と能楽～

大島 衣恵 氏

能楽師 シテ方喜多流

1974年広島県福山市生まれ。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。
祖父・久見、父・政允(共に能楽喜多流職分、国指定重要無形文化財保持者)に師事し、2歳で鞍馬天狗の稚児にて初舞台。
福山市光南町の喜多流大島能楽堂を中心に国内、海外でも能楽の演能、普及活動に努めている。エリザベト音楽大学非常勤講師、(社)能楽協会会員。
2007年広島県教育奨励賞、2010年広島国際文化財団国際交流奨励賞、2018年広島文化賞受賞。



会場のご案内



リーガロイヤルホテル広島

〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL:082-502-1121 FAX:082-228-5415

リーガロイヤルホテル広島 検索

「リーガロイヤルホテル広島」
について詳しくは▶



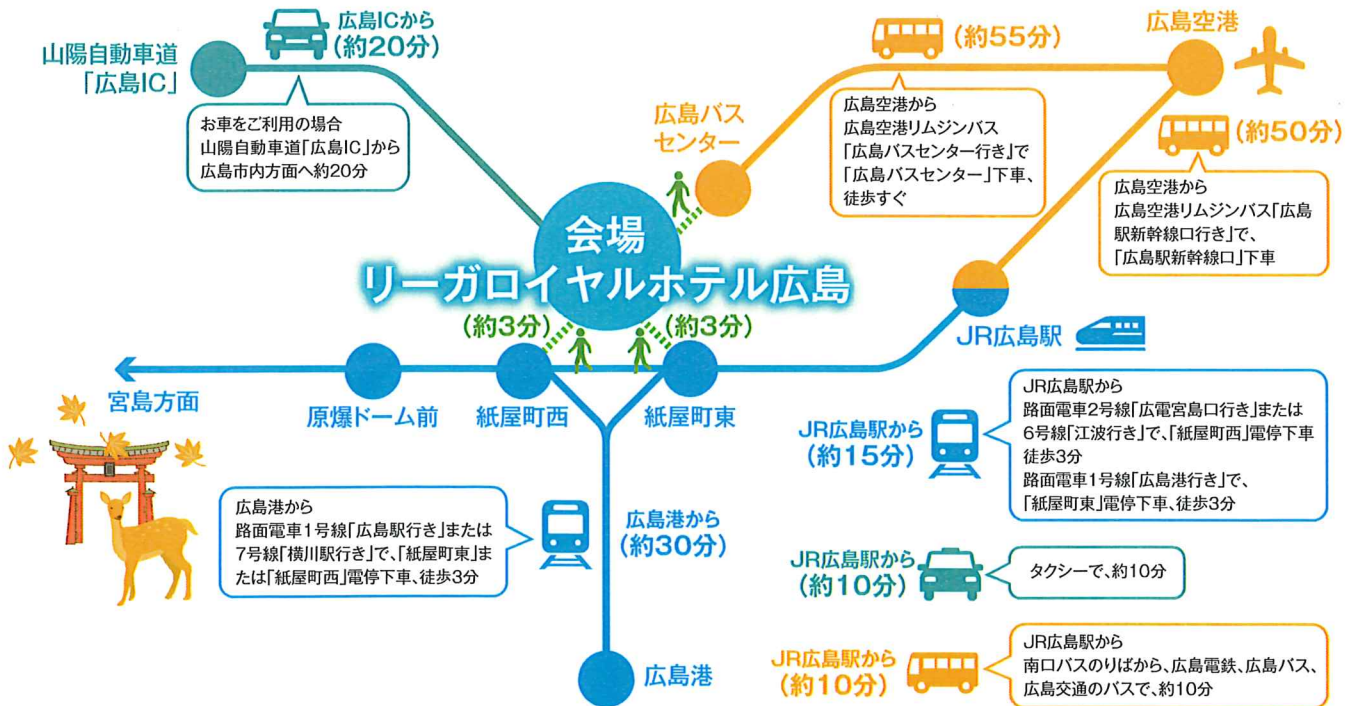
<https://www.rihga.co.jp/hiroshima>

手荷物預かりサービスのご案内

手荷物預かり(宿泊先へ配送)については、ホテル1階で承ります。



※イメージ



セミナーのご案内

第37回全国経済同友会セミナー《参加お申し込み》

お申し込みにあたってのお願い

お申し込み後の主催者側からの連絡は、原則所属経済同友会経由とさせていただきますが、急を要する場合には、ご登録いただいたメールアドレスに直接ご連絡させていただきますことありますので、あらかじめご了承ください。

お申し込み受付開始

2025/1/20(月)

参加会費(セミナー)

お一人様 **50,000円**

(税込、資料、懇親パーティー、昼食等の費用を含む)

※部分参加の場合も、全額を申し受けます。

なお、同伴者(配偶者)ならびに参加者の随行者(秘書)がご参加の場合は、

1名につき**12,000円**の参加会費をいただきます。

参加会費は所属経済同友会へお支払いください。

お申し込み締め切り

2025/2/20(木)

参加お取消し・変更

2025年3月17日(月)までに、以下の通り連絡をお願いいたします。それ以降のお取消しにつきましては、参加会費を全額いただきますので、ご了承ください。

セミナー:所属の各経済同友会にお申し出ください。

エクスカーション・宿泊:

(株)たびまちゲート広島「第37回全国経済同友会セミナー」係まで原則メールにてお申し出ください。

メール:hirodoyu@tabimachi-gh.co.jp

TEL:082-543-2102

受付時間:平日10:00~17:00(12/28~1/5および土日祝日を除く)

お申し込み方法

以下URLもしくはQRコード※から、直接お申し込みください。なお、各同友会で取りまとめている場合は、所属同友会にFAXにてお申し込みください。(詳細は、所属同友会にお問い合わせください)

※「QRコード」は、(株)デンソーウェブの登録商標です。

第37回全国経済同友会セミナー申込フォーム

<https://e-ve.event-form.jp/pages/5534/BA3voUhFHH>



全国44経済同友会

北海道経済同友会	富山経済同友会	山口経済同友会
青森経済同友会	(一社)金沢経済同友会	(一社)徳島経済同友会
(一社)岩手経済同友会	福井経済同友会	(一社)香川経済同友会
(一社)秋田経済同友会	(一社)岐阜県経済同友会	愛媛経済同友会
(一社)仙台経済同友会	静岡経済同友会	土佐経済同友会
山形経済同友会	中部経済同友会	福岡経済同友会
福島経済同友会	滋賀経済同友会	佐賀経済同友会
(公社)栃木県経済同友会	(一社)京都経済同友会	長崎経済同友会
群馬経済同友会	(一社)関西経済同友会	熊本経済同友会
埼玉経済同友会	(一社)神戸経済同友会	大分経済同友会
千葉県経済同友会	奈良経済同友会	宮崎経済同友会
(公社)経済同友会	(一社)和歌山経済同友会	鹿児島経済同友会
(一社)神奈川経済同友会	鳥取県経済同友会	沖縄経済同友会
山梨経済同友会	島根経済同友会	広島経済同友会
新潟経済同友会	(一社)岡山経済同友会	

第37回全国経済同友会セミナー企画委員会

◆北海道経済同友会

副代表幹事	西山 隆司 (西山製麺(株) 代表取締役社長)
幹事	吉田 松雄 ((学)吉田学園 総長)

◆(一社)仙台経済同友会

代表幹事	西井 英正 (弘進ゴム(株) 代表取締役社長)
副代表幹事	橋浦 隆一 (今野印刷(株) 代表取締役社長)

◆(公社)経済同友会

副代表幹事	山下 良則 ((株)リコー 代表取締役会長)
常勤顧問	岡野 貞彦 ((公社)経済同友会 常勤顧問)

◆中部経済同友会

常任幹事・総務委員会委員長	光田 敏夫 (桂新堂(株) 代表取締役会長)
幹事・総務委員会副委員長	河口 佳徳 (新東工業(株) 執行役員総務部長)

◆(一社)関西経済同友会

幹事	松田 真理 (ピーチコーポレーション(株) 代表取締役社長)
常任幹事・事務局長	廣瀬 茂夫 ((一社)関西経済同友会 常任幹事・事務局長)

◆福岡経済同友会

副代表幹事	田中 亮一郎 (第一交通産業(株) 代表取締役社長)
常任幹事	龍造寺 健介 (本多機工(株) 代表取締役社長)

◆広島経済同友会

特別幹事	森信 秀樹 (森信建設(株) 代表取締役社長)
常任幹事	香川 基吉 ((株)福屋 取締役副会長)